

## 開催中の企画展

## 絹谷幸二 色彩とイメージの旅

開催中～10月15日(日)まで

本展覧会は、絹谷幸二の初期から現在に至る代表作を展示するとともに、素描や陶芸、ガラス作品に至るまで、絹谷氏の多彩な活動の全貌に迫ろうとするものです。会場内には、絹谷氏の鮮やかな色彩の源となっている顔料をご覧いただけるコーナーや、本展覧会のために制作された新作がずらりと並ぶ空間も。絹谷芸術の全容に触れることができる絶好の機会です！



▲顔料瓶を展示したコーナー

会期中のイベントも盛りだくさん。作家本人によるギャラリートークは毎回多数の方にご参加いただき、大変人気です。9月9日、10日はアフレスコ画の公開制作も行いました。なお、毎週金曜日と土曜日は午後9時まで開館していますので、お仕事や学校帰りにゆっくりと展覧会を堪能するのもおススメ。ミュージアムショップとカフェも営業時間を延長していますので、ぜひご利用ください。



▲会場の様子

今後のイベント

### ギャラリートーク

9月23日(土・祝) 午後3時～

9月29日(金) 午後6時～

講師：絹谷幸二

### 東京音楽大学コンサート

9月30日(土) 午後5時～

### 【友の会解説会 実施報告】



9月8日に、本展担当者による特別解説会を実施しました。エントランスホールに展示されている立体作品の解説からはじまり、さっそく会場内へ。時系列に沿ってそれぞれのセクションを巡り、絹谷幸二氏の作風の変化に触れながら、1点1点作品を見ていきました。展覧会準備中に、作家本人から聞いたエピソードなども披露され、今回の展覧会のテーマでもある「色彩」の秘密に迫る内容となりました。

## 次回の特別展

## 岡本神草の時代

11月1日(水)～12月10日(日)



▲岡本神草《拳を打てる三人の舞妓の習作》(部分) 1920年

### しんさうのぬりゑ

会期中、美術館1階にアトリエスペースが登場します。ぬり絵を楽しみながら、岡本神草の世界にひたってみませんか？参加無料、どなたでもご自由にお立ち寄りください！

日時：会期中、いつでも | 会場：当館1階ロビー

京都市立絵画専門学校の卒業制作を、厳選で知られている第1回国画創作協会展に入選させ、新興美人画家として注目された岡本神草(1894-1933)。昭和に入ってから、かつてのように官能性を前面に押し出すのではなく、そこはかとなく漂わせるような作風に移り、38歳の若さで亡くなりました。画家にとって初の大規模回顧展となる本展は、数少ない本画を可能な限り集め、素描、下図、資料類100点ほどを加えて画業を紹介するとともに、甲斐庄楠音など同時代に競い合った作家達の作品も展示し、神草芸術の全貌だけでなく、時代性と特異性を知ることのできる展覧会です。

### 友の会特別解説会

日時：11月10日(金) 午後6時～7時

集合場所：当館1階ロビー

解説者：小倉実子(当館主任研究員)

申込み先：京都国立近代美術館 総務係

電話：075-761-4111(月曜から金曜まで、午前10時～午後5時)

メール：info@ma7.momak.go.jp

(件名は「友の会特別解説会申込み」としてください)

※お申込の際は、お名前と会員番号をお伝えください

## 講演会「岡本神草の時代展について」

11月25日(土) 午後2時～3時30分

講師：小倉実子(当館主任研究員)

会場：当館1階講堂

聴講無料、先着100名(午前11時から1階受付にて整理券を配布します)

## 京都市立芸術大学 ホワイエコンサート

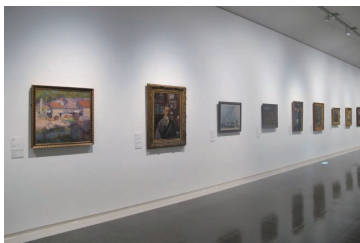
11月18日(土) 午後5時10分開演

会場：当館1階ホワイエ

入場無料、当日先着100席



## コレクション展 平成29年度 第3回コレクション展



▲コレクション展会場風景

開催中～10月22日(日)まで

3階の企画展に関連し、絹谷幸こと同様にイタリアに魅了された入江波光ら日本画家の作品を展示しているほか、1970年の「現代の陶芸展」に出品され、その後当館が収蔵した北欧の陶芸作品などもご覧いただけます。

### 【予告】第4回コレクション展

10月25日(水)～12月24日(日)

キュレトリアル・スタディズ 12：泉／Fountain 1917-2017

Case 4：デュシャンを読む：リサーチ・ノート  
by ベサン・ヒューズ

岡本神草展によせて

友禅と型染

河井寛次郎と近代日本の陶芸

ケラ美術協会

などのテーマで展示を行います。



### キュレトリアル・スタディズ 12：泉／Fountain 1917-2017

Case 3:

#### 誰が《泉》を捨てたのか？ Flying Fountain(s)

この企画では、1年間、5回に渡ってテーマを設定し、マルセル・デュシャン《泉》をめぐる様々な解釈や解読の可能性を展示やレクチャーを通して考えています。今回のキュレーション担当は、当館の元学芸課長をつとめた河本信治氏。

展示室では、便器や帽子掛けやシャベルのレディメイド作品が、上からぶら下がっています。なぜ吊るされているかは…会場の詳しい解説でお確かめください！

さらに、デュシャンに影響を受けた前衛美術運動「フルクサス」が発行していた新聞などの印刷物を紹介する「フルクサスのマルチプル：レディメイド以降」と、デュシャンへのオマージュ的作品を集めた「アンサーソング：井田照一、森村泰昌、笠原恵実子」も同時開催中！あわせてお楽しみください。



▲「キュレトリアル・スタディズ 12」展示風景



NFC 所蔵作品選集

## MoMAK Films 2017 日本のアニメーション特集

『ふしぎなくすり』(1965年、監督：岡本忠成) ▼



今年は日本でアニメーションが制作されはじめてちょうど100周年の記念すべき年です。9月のMoMAK Filmsでは、1980年代以降の日本アニメ界を牽引し、一作ごとに世界のファンを魅了する押井守監督の代表作の上映と、無声映画を活動弁士と楽士のライブパフォーマンス付で上映して映画文化を体験してもらい、子ども向けの特別イベントを実施します。

### 9月23日(土) 押井守監督

午後2時～3時25分 『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』(1995年)

午後4時～5時39分 『INNOCENCE イノセンス』(2004年)

### 9月24日(日) こども映画館

① 午後2時～  
アニメーション・デー！

アニメーションの原理やおもしろさを専門家がわかりやすく解説しながらアニメーション作品を鑑賞します。

② 午後3時30分～  
活弁と音楽の世界——ファンタジーとアクション

無声映画時代の上映形態であった活動弁士の語りと伴奏音楽のライブ演奏を再現する、特別な上映会です。

1プログラム：520円(当日券のみ)

\*チケットは会場1階受付にて、当日午後1時から販売

会場：当館1階講堂 | 各回入替制・定員100名

京都国立近代美術館賛助会員

当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

<特別会員>

木下グループ

<一般会員>

KYOCERA

<一般会員>

ワコール

<一般会員>

中央信用金庫

### 第1回フォーラム

#### 「感覚×コミュニケーションでひらく、美術鑑賞の新しいかたち」

10月7日(土) 午後2時～4時 当館1階ロビーにて

聴講無料、先着100名(午前11時より1階受付にて整理券を配布します)

当館は、地域の盲学校や大学、行政と連携して、「見る」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直す試みを始めました。このフォーラムでは、視覚だけにとらわれない美術鑑賞を実践している美術館やグループから講師をお招きし、お話をうかがいます。バリアフリーという視点だけではなく、ユニバーサルな鑑賞のあり方を模索するこれらの取り組みを踏まえ、「感覚」と「コミュニケーション」をキーワードに、美術鑑賞の新しい「かたち」について、さまざまな立場からの考えを共有し、議論を深めます。

★詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください